

様式2

令和4年度 生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告書

令和4年11月22日

高校教育課長 様

更級農業高等学校長

下記のとおり事業を実施しました。

記

1 実績内容

事業名	グラウンド土搬入・整備
実施主体名	野球部生徒
実施人数（生徒）	23人（延べ人数約80人）
（保護者）	
（職員等）	3人
実施日	11月18日（金）～20日（日）のうち3日間実施
事業内容	グラウンドの土・砂の搬入が少ないため、グラウンド各所にくぼ地や雨水の流れる凹みができており危険な状態であった。そのような箇所に運動に適した土や砂を混ぜながら平らになるように埋めていく作業を実施。具体的には、一箇所に山積みになった土を一輪車でグラウンド中に運び、人力で土ならし（スコップ・土ならしトンボ等）を行った。

2 実績額 99,000円

（購入品目）

※添付書類で明細が分かる場合は省略可。

品名	規格	数量	単価	金額
支出命令書・明細を添付				

3 実施成果の公表方法・時期

学校ホームページにて公表済み
----------------

担当者（職・氏名）教諭 鈴木 達也

様式2の付表

○事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況

日頃から体育授業やクラブ活動の場面では、以下の項目について担当職員から生徒への意識付けを実施しているが、この事業において、より効果的な教育的効果があったと判断できる。

- ① 「安全面への配慮」 用具・施設などの管理はもちろん、グラウンド整備に関しては細心の注意を払い日々状況を確認する意識がより高まった。
- ② 「集団で協力する」 一人より集団、一回より何度も。たとえ個々の力は小さくとも、積み重ねや継続を大切にする意識が高まった。
- ③ 「感謝の気持ち」 特別予算で行った事業であることを個々が認識し、関係各所への感謝の気持ちを持たせることができた。

○事業を実施する上での問題点

グラウンド状況から判断される「安全管理レベル」は、まだまだ不十分である。  
本来であれば数百万円を予算化し、全面的なグラウンド客土の整備が必要な状況であり、たとえ10万円レベルでもありがたいが、抜本的な予算確保でさらなる増額をお願いしたい。

○今後、本事業に要望すること

上記、問題点に同じ。

○事業実施風景

